

# 経営安定化計画

(平成 21 年度～平成 24 年度)

高知県信用農業協同組合連合会

## 【 目 次】

第 1 部 当会の事業運営方針

第 2 部 資金・損益計画

第 3 部 重点実施策

第 4 部 本計画の着実な実践

## 第1部 当会の事業運営方針

### I 基本方針

収益構造の改善や適切なリスク管理、内部統制の強化をとおして安定的な経営基盤を構築するとともに、JAバンク会員への安定的な還元を回復させ、JAバンクシステムの信頼性を高めます。

JAの総合事業の中の信用事業であるJAバンク高知の発展に寄与するため、JAの補完機能を発揮することを主眼に事業運営を行います。

JAバンク高知が、農業金融機関としてさらなる機能強化を図るとともに、地域金融機関としての基盤を強化し、安定的な経営基盤を確立できるようJA・信連が一体となって取組みます。

また、県下JAバンク会員がJAバンク基本方針を遵守するよう指導するとともに、中央会等と連携を図り、JAバンク高知の信頼性の確保のため、JAバンク高知県本部としての役割を果たします。

### II 目標

- 1 農家、農業および地域にかかる利用者基盤の強化・拡充
- 2 適切なリスク管理とJAバンクシステムの信頼性向上
- 3 収益力の強化・安定化による健全性の確保

## 第2部 資金・損益計画

収益の回復と安定化を図り、財務の健全性維持に注力します。4か年の資金・損益計画の概要は以下の通りです。

### I 資金計画

#### 1. 貯金

JAバンク高知の県域機能として貯金増強施策を実施するとともに、系統およびその他団体等の大口資金の動向を十分に把握し、安定的な資金調達を行います。

#### 2. 貸出金

JAグループ等と連携し、農業融資への対応やJA補完の強化を図ります。リスク管理の充実化も踏まえながら、融資先の深耕・開拓に注力するとともにシンジケートローン等新たな融資にも積極的に取り組みます。

#### 3. 預金

流動性、系統利用率に十分な管理を実施し、資金収支向上に向けた効率的な資金繰りに取り組みます。

預金施設に係る利用率の目標として、50%台前半を目指します。

#### 4. 有価証券

分散投資により金利リスク等の軽減を図るとともに、リスク管理を強化し、安全で安定的な長期投資を目指します。

### II 損益計画

#### 1. 資金収支

奨励金水準維持を前提とした安定的な還元を目指し、資金収支の改善を図ります。

金銭の信託について、保有区分の変更等により実質的に資金収益の一部として安定化させる施策を検討・実施します。

#### 2. 経費

人事労務体制等抜本的見直しの検討・実施、業務内容見直しと効率的な要員配置等により改善を図ります。

県域の役割分担や業務のあり方を見直し、事業推進費、業務費等全般的に改善を図ります。

### 3. 運用の基本スタンス

利息配当向上を中心とする安定的な運用方針に沿ってALM委員会で協議し、バランスの取れた資産配分により効率的な資金運用を目指します。また、状況により、将来の再投資を考慮し、体力に見合った評価益資産の売却を行います。

### 4. 最終損益

出資配当が確保できる最終損益の回復・安定化を目指します。

また、各年度での業務執行実績により、長期安定的な還元の源として内部留保を積上げていくことを目指します。

### 5. 目標損益数値

(単位：百万円)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
資金運用収支	1,699	1,906	1,974	2,034
資金経費収支	△501	△294	△226	△166
役 務 収 支	280	280	280	280
その他経常収支	459	459	459	459
税 引 前 利 益	238	445	513	573

注1) 資金運用収支＝資金運用収益－資金運用費用

注2) 資金経費収支＝資金運用収支－経費

注3) その他経常収支は、金銭信託の利息配当見込分+賃貸料等

(単位：%)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
甲種奨励金率	0.6	0.6	0.6	0.6
乙種奨励金率	0.3	0.3	0.3	0.3

(単位：％，平残ベース)

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
貯 貸 率	12.86	13.83	14.78	15.72
貯 預 率	51.64	50.22	49.27	48.33
貯 証 率	29.99	30.44	30.44	30.44
経 費 率	0.34	0.33	0.33	0.33

注4) 貯貸率＝貸出金／貯金×100

注5) 貯預率＝預金／貯金×100

注6) 貯証率＝有価証券／貯金×100

注7) 経費率＝経費／貯金×100

(なお、数値は平成 20 年 12 月末の経済・金融環境における金利水準等に基づいて作成しています。)

## 第3部 重点実施策

### 1 信連業務機能の強化

#### (1) 収益構造の改善

市場動向に左右されにくい安定した収益還元を実現できるよう、貸出金・預け金・有価証券の資金配分を見直し、資金収支向上に向けた収益構造の改善に取り組みます。

また、継続的に経費内容の再検証を徹底し、費用の効率化を図ります。

#### (2) リスク管理態勢経営管理の強化

市場の変動や経済環境の変化に左右されにくい安定した収益還元を実現するという基本コンセプトのもと、「リスク」「収益」「資本」のバランスがとれた適切な経営管理を行うため統合的リスク管理態勢を構築し、経営や運用に対する実効性のある牽制機能を発揮し、経営の健全性と収益力の向上に取り組みます。

#### (3) 内部統制システムの構築と運営

事務事故や不祥事等が未然に防止できる内部統制システムを確立し、事務プロセスの評価と改善を進め、モニタリング機能を強化し、財務・業務の信頼性を確保します。

また、情報セキュリティの確保とコンプライアンスへの意識向上に努め、健全で活気のある組織風土作りに取り組みます。

#### (4) 内部監査の充実

会内内部統制システムの適切性が確保されているか、法令遵守状況の適正性を確認するモニタリングを内部監査等により行います。併せて、会内オペレーショナルリスクの把握につとめ、そのリスクコントロール方法の策定、実施に取り組みます。

#### (5) 業務の合理化・効率化

県域の一体化の強化と併せ、当会の果たす役割を明確にし、業務の合理化・効率化を図るとともに、JAバンク高知全体を睨んだ継続的な経費削減に取り組みます。

#### (6) 人事労務政策

実効ある人事制度の運用を図るとともに、適切な人員配置を行い、金融検査マニュアルやJAバンク基本方針に合致した業務運営を行います。

また業務の合理化・効率化施策と連携をとり、安定的な人員確保も踏ま

えたなかで人事労務施策の改善を検討します。

(7) 人材育成

JA 補完機能を十分に果たすことができる JA バンク職員としての能力向上とコンプライアンス強化、事務の堅確性確保に向けた教育研修体制を確立し、中期的な視点に立った教育研修を実施します。

## 2 JA バンク 高知の本部機能の発揮

(1) JA バンク 高知の一体性強化

JA バンク 高知の県本部としての本会の企画・事業推進機能の強化を図り、JA 貯金、ローン、JA カード等、個人金融分野における競争力・収益基盤の拡充を図るとともに、県域全体の効率化および組合員・利用者ニーズへの対応の観点から、JA バンク 高知の機能分担の見直しを計画的に進めます。

- ① JA バンク 高知をメインバンクとする利用者の持続的拡大を図る施策を検討・実施します。
  - ・ 農業者のメインバンクとしての地位確立
  - ・ 農業以外の JA 利用者にかかるメイン化
  - ・ 将来のメイン利用につながる新規利用者の拡大
- ② JA バンク 高知におけるより踏み込んだ一体性強化策、JA・信連間の機能分担の見直しを検討し、競争力強化に向けた事業運営態勢確立を図ります。
  - ・ ATM戦略等 JA バンク 高知が一つの金融機関として機能していく施策の検討・実施。
  - ・ 事務統一による合理化・効率化
  - ・ 融資、事務等県域センター的役割の強化策の検討・実施
- ③ JA バンク 高知の経営管理態勢の高度化を支援します。
  - ・ 全 JA 共通の経営数値目標の設定・月次ベースでの実績管理態勢の整備
  - ・ 「収支」「リスク」「資本」のバランスをとりながら経営を行うためのリスク管理態勢の整備
  - ・ 県域へ集約できるリスクの分析と集約に向けた施策の検討・実施

- ④ JAからの相談や利用者からの相談に対するJA補完のため、相談機能の強化を図ります。

(2) 農業専門金融機関としての役割強化

「10年後の高知県農業像・地域農業像」実現に向けてJAバンク高知として農業金融面から支援に取り組みます。

高知県内の農業関連企業を中心に、農業・系統との接点にたつ役割としての地場企業融資に積極的に取り組みます。

- ① 多様化する農家の資金ニーズに応えられる資金体系の整備
- ② JAの出向く体制づくりの支援
- ③ 生産者部会等JA組織の支援
- ④ 専門家を活用した農家サポート体制の充実
- ⑤ JAグループの強みを生かした農業関連法人融資の推進
- ⑥ 農商工連携ファンド等を活用した、JA・生産者組織と関連法人の橋渡し

(3) 機能還元・収益還元

奨励金水準の維持を前提に安定的な収益還元を行うとともに、他連合会と連携し、JAの経営安定化を支援します。

#### 第4部 本計画の着実な実践

- (1) 本計画で掲げた目標を各年度の事業計画に盛りこみ、信連役職員総力をあげて本計画の達成に向けて着実に取り組みます。
- (2) 本計画の進捗状況については、JA代表者・常勤役員会等で報告していきます。